

令和5年度和歌山県立那賀高等学校第1回学校運営協議会議事録

1 日 時 令和5年6月13日（火） 13:00～14:50

2 会 場 那賀高等学校 応接室

3 日 程

（1）開 会

（2）校長あいさつ 委員への出席に対するお礼

（3）学校運営協議会委員自己紹介

各委員からの自己紹介及び学校関係者の紹介

出席：岸田正幸 細田能成 福山晴美 大西英喜 白井雄祐 森文哉

欠席：兼本得善

傍聴者：教頭 事務長 教務部長 国際教育部長 3学年主任 1学年主任

（4）学校運営協議会 会長、副会長選出

会長：岸田正幸 氏 副会長：細田能成 氏

（5）協議題

【1】きのくにコミュニティースクールの取組について

（校長説明）

リーフレットで説明。本校の核となる地域は岩出市、加えて那賀地方・和歌山市・伊都地方。キャリア教育支援事業は、昨年度から総合的な探求の時間での取組にスライドを進めている。教育委員会CS調査結果のまとめを説明。

（意見）

- ・協議会には法的に権限がある。当事者意識必要。小学校は協議会に部会がある。高校は部会設置が難しい面がある。地域広い。コーディネーターが必要ではないか。

【2】令和5年度和歌山県立那賀高等学校 運営方針について

（校長説明）

現状を説明（在校生徒の様子。紀北地域中学校卒業人数の推移。入学者の地域別人数。国公立大学進学者の減少傾向。20年前と現在との比較。）。

課題の分析と今後の取組（国際科をもっとPRして、人気を高めたい。行事等の充実。）

教育目標とスクールポリシーは昨年同様。

令和5年度学校評価シートの重点目標の確認。以下の4つの柱。

【重点目標】

- 1 進路志望の実現とその先まで見据えての3年間の進路計画策定と各学年での着実な遂行。
- 2 国際理解教育と国際科養成の推進。
- 3 全教職員が「チーム那高」を意識し、気概を持って指導に当たれるよう、校内体制を整理・充実。
- 4 生徒が成長するための視点に立った学校行事等の精選と充実。

- ・進学先。公立大学に遠くでも行っている。なぜか。

- ・理系の学費が高いので、公立を目指す。学部にもよるが。
- ・いい人材が生徒にいたので伸ばしてほしい。
- ・進学先の選択。特色のあるところを探す。卒業後、地元に戻ってきてほしい地域に戻って来てくれるよう話をしていきたい。探求の中で、地域課題を勉強したい人を対象の枠があれば良い。地域のキーパーソンをたくさん知っているの、活用したい。地域貢献はの具体的な取組は何か。
- ・地域貢献事業資料のとおり。
- ・本年度の運営方針を承認してよいか。全員承認。

【3】令和5年度キャリア教育支援事業について

【4】令和5年度本校運営協議会の取組及び学校運営に関する意見等について

(【3】・【4】について校長から委員に意見を求める)

- ・コロナ前は、地域の人が学校へ来て話しをした。50人ぐらいあった。コロナでできなくなっていった。いろんな職業の人の話しを聞くことは大変ためになる。良いことである。
- ・昨年、振興局から20名、グループワーク。今年度は、すでに2年生で活動が始まっている。
- ・協議会に総合的な探求の時間の部会設置。協議会活動としていく。
- ・地域には、那賀高校OBが多い。活用していけばよい。
- ・地域人材バンクは、3年間、コロナ禍でできなかったが、今年度は再開させる方向で進めれば良い。講師の人集めをしてはどうか。秋くらいに事業を実施してはどうか。総合的な探求の時間やキャリア教育支援事業等、学校運営協議会が主体となって取り組む事業と、学校が主体となって取り組む事業を整理・調整させる。連携や融合していくことも必要。
- ・岩出商工会とのタイアップはどうか。
- ・次回、秋頃で協議会と人材バンクのタイアップを考えてみる。

(6) 閉会

校長謝辞

4 資 料

- (1) きのくにコミュニティースクールリーフレット
- (2) 「きのくにコミュニティースクールの実態と学校の意識に関する調査」の結果等
- (3) 令和5年度学校要覧（運営方針 教育目標 スクールポリシー）
- (4) 本校の現状
- (5) 令和4・5年度学校評価シート
- (6) 地域貢献報告及び計画
- (7) 「総合的な探求の時間」内容
- (8) 令和5年度入学生用学校案内パンフレット
- (9) 令和4年度育友会だより
- (10) 和歌山県高等学校運営協議会規則